

第 7 次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		A	グループ	施策名									
参加者	行政	鈴木 誠、間瀬 桂輔、鈴木 喜彦、奥村 卓矢、保母 公次		重点政策	1	産業の活性化と雇用の確保							
	町民	太田 彰、山下 大輔、竹内 康隆、綱島 慶人、松本 みゆ											
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題		・これまで南知多町田舎暮らし支援センターの活動に参加し、農業の大切さを学んできた。日本の農業や自給率の低下など、今後の生活を考えるうえで町における農業支援の政策が重要。町外からの移住や農業体験を希望する人へのPR活動を強める必要があると思う。 ・他の町にはなく南知多が有している魅力的な資源は海岸線の景色であると思う。観光客が楽しめる、また来たいと思える海岸線作りをしていく方が良い。											
予算（事業）名		農業施設維持管理費		商工業振興事業費		観光振興事業費		その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点		特になし		特になし		特になし		人口の目標数値の根拠が明確ではないと感じるので、行政として水道や道路などのインフラを始めとした根幹な部分を踏まえて、目標数値を設定するべきではないか。					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点		将来的に、対応ができなくなることが見込まれるので、町民が使う広い農道の草刈りは町で対応してもらいたい。		工業に関する施策が見られな い。事業継承は移住なども絡み 難しい部分もあるので、南知多 に合った形で進める必要があ る。		海水浴を前面に押し出す時代で はない。誘客の方向性を見直す 時期に来ている。							
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	3	点	（内訳）	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	改善の余地あり			（摘要） 行政の考えが、うまく町民に伝わっていないのではない か。		（摘要）		（摘要）				

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		B	グループ	施策名									
参加者	行政	奥川 広康、滝本 義紀、吉原 裕人、上米良 勇太		重点政策	1	産業の活性化と雇用の確保							
	町民	宮本 邦彦、山本 直径、鈴木 甚八、兼井 康夫、須賀 萌乃、鈴木 勇治											
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題		・ウミひとココロや、おいな市など、あまり活動を見かけなくなってしまった団体に、再起をはかる手助けはできないものだろうか。 ・農業自体が産業として魅力のある産業にならないと新規就農者も増えることは難しいのではと思う。 ・南知多町まるごと楽しめるマップのバージョンアップをしてほしい。											
予算（事業）名		商工業振興事業費		農業振興対策事業費		栽培漁業振興対策事業費		その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点		商工業者同士が協力しあい、新たな取組を進めている。		南知多町は獣害が比較的少なく、気候的に恵まれており、農業を行いやすい土地である。		栽培漁業を行っており、育てる漁業に力を入れていることは良いと思う。							
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点		南知多町の漁業、農業などが一つの場所で賑わいを創出するような場所があると良い。		新規就農者へのサポート体制として住む場所の確保や補助が重要だと考えられる。		栽培漁業にもっと力を入れてほしい。							
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	4	点	（内訳）	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	2	点
	ii	改善の余地あり			（摘要） 予算としてやっていることはわかるが、拡充要望もあるため。		（摘要） 順調だが、先を見据えて努力していく必要があるため。		（摘要） 協働の事業はしっかり行っている。今後も継続を望む。				

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		D	グループ	施策名									
参加者	行政	土井 美香、松本 伸弘、堀之内 浩子、齋藤 桂、石黒 欽也		重点政策	2	子育て支援と教育の充実							
	町民	熊本 弘範、内田 真菜美、坂野 真由美、中川 雅博											
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題		・子供が集まれる場所が少ないです。 ・少子化が進む中、少人数だからこそできる子どもの学習や強みをさらに生かしてほしい。 ・体育館の冷房化。 ・入園前の親子のちびっこ広場や親子ふれあい広場は1か月に一度だけなので、それ以外の日に親子やママ友との交流できる場所を開放してほしい。											
予算（事業）名		賄材料費		放課後児童健全育成事業費				その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点		有機野菜や南知多町産の野菜を給食に利用しているのはいい。PRポイントになる。		希望すれば利用できる。学校等を通じ、周知が図れている。				無料で海っこバスを利用できるICカードの評価は、所有率より利用率の方がいい。					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点		取組を知らない保護者がいる。		夏休みは朝から晩まで時間が長く見守る職員が不足している。									
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	4	点	（内訳）	予算事業	2	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	改善の余地あり			（摘要） 有機農業の給食への使用や補助金など子どものための事業を予算化している		（摘要） もう少し周知をはかる		（摘要） 実際に取り組んでいる姿を目にする				

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報			F	グループ	施策名								
参加者	行政	伊藤 友規美、石橋 暁登、内田 健二、井上 和貴、戸田 竹彦			重点政策	3	定住支援						
	町民	榊原 英治、岩瀬 雅哉、樋口 浩久、佐藤 明子、中川 恵美子											
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題		・自分が年を取ったとき交通手段がなかなかないので、もっと便利にしてほしい。 ・倒壊しかけている古民家の付近を通る時不安です。災害時に避難経路を塞がれると予測される所は早めに地域で対処してほしいと思います。 ・保育所や小学校など幼い子どもが利用する施設を安全な場所にしてほしい。											
予算（事業）名		公共交通対策事業費		空家等対策事業費		施設マネジメント事業費		その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点		令和5年10月の路線再編により、海っ子バスの利用者数は増加傾向となっている。		空き家バンクで移住希望者が多く登録いただき、移住実績も上がっている。		中学校新校舎建設等、8年度以降の公共施設の計画が立てられている。		・移住担当課の創設。 ・スーパー等の商業施設や働く場となる企業の誘致。					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点		路線再編により、交通空白地移動不便地域が新たに発生した地域もあり、新たな移動手段の確保が必要。		空き家の登録が少なく、物件が少ない。民間事業者と連携し、空き家情報の発信強化が必要。		公有財産（未利用地）の利活用が実際には進んでいない。公共施設等の管理とともに、計画的な実行が必要。							
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	3	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	改善の余地あり			(摘要) 南知多町の魅力を活かした事業を。		(摘要) 移住か定住か、何を重視するのか検討していくべき。		(摘要) 役場だけではなく、地域住民、移住者と連携して課題解決に。				

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		C	グループ	施策名									
参加者	行政	伊藤 尊人、北川 峰子、大崎 沙久実、榊原 康広		重点政策	2	子育て支援と教育の充実							
	町民	山下 陽、小栗 一則、丹羽 勇斗、日比 千津子											
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題		・子供が集まれる場所が少ない ・少子化が進む中、少人数だからこそできる子どもの学習や強みをさらに生かしてほしい ・体育館の冷房化											
予算（事業）名		放課後児童健全育成事業		教育振興一般管理事業		中学校一般管理事業		その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点		・うみっこ放課後児童クラブは年間平均18.7人、豊浜放課後児童クラブは年間平均6.7人の利用があり、児童の健全育成のための適正な運営ができています。 ・業者によるおやつ（氷菓子）配達が導入された。		デジタルドリル使用料や林間学校補助金を支出することにより教育振興に寄与できている。		スクールバス等運行事業において、バス及び福祉車両の運行について適正な運行及び管理により、大きな事故がなく安全に運行できている。		「子育て支援センター・どんぐり園」事業					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点		夏休みなどの需要が高まる時期の放課後児童クラブ支援員が不足している。		教育振興のために必要な事業だが、教職員や町教委事務局の事務負担が大きい。		・特別教室への空調機器設置や危険箇所の改修やトイレの洋式化。 ・町内においてバス運行業者が限られているため今後安定的に運行できるか確認がない。							
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	4	点	（内訳）	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	2	点
	ⅱ	改善の余地あり			（摘要） 必要な人に対する事業の周知がもっと必要では？		（摘要） 応援の意味も込めて		（摘要） 応援の意味も込めて				

第 7 次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		E	グループ	施策名									
参加者	行政	山下 哲矢、相川 洋輝、相川 知久、山下 英将、家田 直政、那須 大輔		重点政策	3	定住支援							
	町民	畑中 康弘、山川 芳範、加藤 直美、小久保 啓子、家田 眞基子											
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題		・倒壊しかけている古民家の付近を通る時不安です。災害時に避難経路を塞がれると予測される所は早目に地域で対処し て欲しいと思います。 ・道路の傷みが目立つようになってきていると感じる。予算的に厳しいのは理解しているがアスファルト補修材の使い方を 指導し地域に簡易修繕ができるボランティア可能な人材を募集するとかしてもいいと思う。 ・自分が年を取ったとき交通手段が中々ないのでもっと便利にして欲しい。											
予算（事業）名		空家等対策事業費		公共交通対策事業費		施設マネジメント事業費		その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点		補助金を活用せず除却したものも含めると、9件の特定空家の除却を実施できた。		知多バスを利用していた方が海っ子バスを利用するようになり、利用者数は増加した。		廃止した公共施設の利活用など、を検討していく。未利用地を産業としての利用や雇用の創出につかってほしい。		事業に転入者をふやすものがない。若者が転入してきたいとおもうようなまちづくり施策。魅力を増やす事業を。					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点		空き家が多いので住むところは多いと思う。雇用や産業につなげてほしい。		バスだけでなく、もっと大きな全体的な事業も検討できないか。		-							
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	3	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	改善の余地あり			(摘要) まちづくりの強化 くらしやすい、防災の予算増		(摘要) バスやタクシーなど検討している。割引券増。人口減少をもっと		(摘要) もっと掘り下げてほしい。				